

平成30年度 教育委員会当初予算(一般会計)要求の概要

(単位：千円)

区分	30年度当初要求額	29年度当初予算額	増減額	増減率
事業費	19,279,848	14,877,636	4,402,212	29.6%

I 要求のポイント

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

【基本方針】

全国学力・学習状況調査において、小・中学校の平均正答率がともに全国平均を上回るなど、学力向上の取組は徐々に成果が現れているものの、中学校の数学で伸び悩みが見られるなど、依然として課題があることから、引き続き学力向上の取組を推進します。高校では、高大接続改革と学習指導要領の改訂を見据えた授業改善や世界に通用するグローバル人材の育成を図るとともに、地域に信頼され選ばれる学校となるよう、魅力・特色ある学校づくりを一層推進します。

体力については、着実に向上しているものの、運動する子どもとそうでない子どもの二極化が課題であることから、運動習慣の定着に向けた取組を推進します。また、多様化・深刻化する子どもの健康課題の解決に向けた取組を推進します。

特別支援教育においては、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人ひとりの教育的ニーズに応えられるよう、教職員の専門性の向上と教育環境の整備を推進することにより、障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築と、合理的配慮の適切な提供を実施します。また、障がいのある子どもの進路実現のため、進学・就労支援体制を強化します。

いじめ認知件数と不登校児童生徒数が依然として高止まりしていることから、未然防止対策の推進と早期発見・早期対応の徹底を図るとともに、福祉関係機関等と連携し、不登校児童生徒の学校復帰・社会的自立等に向けた支援を充実します。

また、学校における「働き方改革」を進め、教員の過重な負担を軽減し、教育の質の向上を図ります。

(1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

学力向上においては、これに組織的に取り組む市町村を支援するとともに「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」の双方を育成するため、小・中・高等学校を通じた「主体的・対話的な深い学び」を実現する授業改善の取組を推進します。特に中学校では、学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底と、学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築など「中学校学力向上対策3つの提言」の実現に向けた取組を推進するとともに、推進重点校における取組の充実と成果の普及を図ります。健康・体力づくりにおいては、児童生徒の肥満の改善・予防対策を推進するとともに、部活動指導員や総合型地域スポーツクラブ等を活用した部活動指導の充実を図り、中高生における運動習慣の定着化を推進します。

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加を進めるため、「個別の指導計画」作成の推進やICT機器を活用したきめ細かな指導の充実など、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境を整備するとともに、特別支援教育の質をさらに高めるため、高度で実践的な研修機会を充実するなど、教職員の専門性の向上を図ります。また、特別支援学校高等部卒業生に県立学校での勤務を一定期間経験させ、一般就労に必要なスキルと労働習慣の習得を支援します。

(2) グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

海外高校との交流促進、国内外で活躍する人物に触れる機会の創出、海外留学や海外大学への進学に向けた機運醸成等を図ることにより、世界に通用するグローバル人材の育成を推進します。また、学習指導要領の改訂に伴い教科化される小学校英語教育の指導体制を強化するため、小学校教員の研修を充実します。

(3) 安全・安心な教育環境の確保

いじめ問題など生徒指導上の諸課題への対応や家庭環境等に起因する様々な課題を抱える子どもたちを支援するため、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置を拡充するとともに、法律の専門家であるスクールロイヤーを新たに配置し、学校における相談体制を充実するなど、いじめ・不登校対策等を強化します。

防災士の資格を有する防災教育コーディネーターを県立学校に位置付け、災害時に適切な意思決定や行動選択ができるよう防災教育を推進します。

(4) 信頼される学校づくりの推進

生徒数のさらなる減少が見込まれる中、地域の高校が地元住民や中学校と連携し、生徒の学力向上や地域に根ざした魅力・特色ある取組を企画・実施することにより、地元へ信頼され生徒から選ばれる高校づくりを一層推進します。

さらに、学校現場を取り巻く課題が複雑・困難化し、時間外勤務が増加するなど、教員の心身の負担が増大していることから、教員の事務サポートや部活動の指導等に外部人材を活用することにより、学校における「働き方改革」を進め、教員の負担軽減による教育の質の向上を図ります。

(5) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

読書離れが課題となっている中学校において、生徒が読書に親しむ機会を充実し、読書習慣の定着を図るとともに、困難さや不便さを感じることなく県民誰もが図書館サービスを利用できるよう、県立図書館に電子書籍を試験的に導入し、読書環境の整備に向けた調査研究を行います。

2 芸術文化による創造県おおいとの推進

【基本方針】

文化財・伝統文化を県民共有の財産として適切に保存・管理するとともに、地域がその歴史的価値を認識し、文化的特色を活かしたまちづくりや観光振興・地域活性化につなげられるよう、本県の歴史・文化の魅力発信や日本遺産の認定促進を行います。また、国民文化祭の開催を契機に、子どもたちが文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会の充実を図ります。

(1) 芸術文化の創造

小・中学生が高校生とともに作品づくりを体験し、芸術文化に触れる機会を創出することにより、子どもたちの豊かな感性や創造力を育成します。また、国民文化祭の各会場において手作りのおもてなしカードを配付することにより、小学生の国民文化祭への参加を促進します。

(2) 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

国民文化祭の開催に合わせ、歴史博物館、先哲史料館、埋蔵文化財センターが連携して企画展を開催するなど、県民が文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会を充実します。また、日本遺産の認定促進などによる情報発信を引き続き推進します。

3 スポーツの振興

【基本方針】

より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、屋内スポーツ施設の建設を進め、スポーツ環境の充実を図ります。また、トップアスリートへの重点的な支援を行うなど、競技力向上に向けた取組をさらに推進します。

(1) 県民スポーツの推進

武道を中心として多目的に活用できる屋内スポーツ施設の建設を進めるとともに、総合型地域スポーツクラブを中心に、県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。また、特に小・中学生のラグビーに対する興味・関心を高める取組を推進し、ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた本県ラグビー競技の普及・振興を図ります。

(2) 世界に羽ばたく選手の育成

優秀選手に対して必要な能力開発や育成プログラム等を実施するとともに、全国大会等での活躍が見込まれる競技において、選手の効果的な育成・強化を行います。

II 事業体系（県政推進指針）

3 発展 一人を育み基盤を整え発展する大分県

（1）生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

①子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

—	小学校学力向上対策支援事業	178,352
—	中学校学力向上対策支援事業	319,483
—	スクールヘルスアップ事業	3,018
—	幼児教育調査・研究事業	1,798
—	新 深い学び推進事業	10,041
—	新 地域の未来を担う農林水産人材育成事業	13,623
—	特別支援学校ICT活用支援事業	19,597
—	発達障がいのある子どもの学び支援事業	13,977
—	新 特別支援学校キャリアステップアップ事業	21,749
—	新 特別支援教育支援員活用事業	11,759
—	新 ICT活用教育推進事業	6,102

②グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

—	グローバル人材育成推進事業	17,191
—	新 小学校英語教育推進事業	1,281

③安全・安心な教育環境の確保

—	いじめ・不登校等未然防止対策事業	174,844
—	いじめ・不登校等解決支援事業	135,518
—	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	52,216
—	子どもの命を守る学校防災強化事業	4,360
—	県立学校施設整備事業	2,982,282
—	新 共同実習船建造事業	1,490,160

④信頼される学校づくりの推進

—	地域の高校活性化支援事業	35,000
—	高等学校等奨学金貸与事業	70,575
—	公立高等学校等奨学金給付事業	370,567
—	新 教員業務サポート・スタッフ活用事業	43,859
—	新 部活動地域人材活用事業	32,818

⑤変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

—	女性の地域協働活動支援事業	2,744
—	「協育」ネットワーク連携促進事業	76,894
—	新 中学生読書活動活性化事業	4,118
—	新 「みんなの読書」拡大推進事業	5,303

(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進

① 芸術文化の創造

└─ 新 子どもわくわく文化体験事業 4,828

② 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

└─ 日本遺産認定推進事業 17,149

└─ 新 “おおいた”の歴史・文化魅力発信事業 12,413

(3) スポーツの振興

① 県民スポーツの推進

└─ 地域スポーツ活性化推進事業 6,567

└─ おおいたシンボルスポーツ創出事業 21,386

└─ 県立スポーツ施設建設事業 4,000,263

② 世界に羽ばたく選手の育成

└─ チーム大分強化事業 104,946

└─ スポーツ大分パワーアップ事業 110,000

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成30年度 教育委員会当初予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a31120@pref.oita.lg.jp (教育庁教育財務課)

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：教育委員会）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
1 小学校学力向上対策支援事業	178,352 (177,403)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し学力向上に取り組む市町村に、習熟度別指導推進教員を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（小5）を実施する。 【新】主体的・対話的な深い学びを支える「言語活動ハンドブック」活用推進協議会の実施	義務教育課
2 中学校学力向上対策支援事業	319,483 (293,033)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し学力向上に取り組む市町村に、習熟度別指導推進教員を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（中2）を実施する。 【新】中学校問題データベースの配信を1教科から5教科へ拡充 【新】言語活動ハンドブックの作成	義務教育課
3 スクールヘルスアップ事業	3,018 (3,056)	児童生徒の肥満の改善・予防を図るため、モデル校に栄養教諭を配置し、学校と地域が一体になって食習慣・生活習慣の改善と運動習慣の定着に向けた取組を行う。	体育保健課
4 幼児教育調査・研究事業	1,798 (2,174)	「大分県幼児教育振興プログラム」に沿った幼児教育の充実を図るとともに、幼児教育のさらなる質の向上を目指し、幼児教育推進体制の構築に向けた調査研究を行う。	義務教育課
⑤ 深い学び推進事業	10,041 (0)	平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しを見据え、児童生徒の学力向上を図るため、高校における主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の取組を推進するとともに、小・中・高等学校のつながりを強化し、一体的な指導体制を確立する。	高校教育課
⑥ 地域の未来を担う農林水産人材育成事業	13,623 (0)	未来の農林水産業を支える、経営マインドを持った力強い担い手の育成を図るため、産業界や行政・大学と連携し、農林水産高校生に対する実践的な担い手プログラムの実施や農作物・食品加工品における生産工程管理システムの導入を推進する。	高校教育課
7 特別支援学校ICT活用支援事業	19,597 (16,241)	障がいのある児童生徒等の社会的自立に向けた学習環境を整備するため、特別支援学校にタブレット型端末を整備する。 【特】自宅からの外出や校外学習への参加に制限のある児童生徒等に遠隔授業を実施するため、セルラーモデル及びポケットWi-Fiを整備する。	特別支援教育課
8 発達障がいのある子どもの学び支援事業	13,977 (6,385)	発達障がいのある子どもに対し、必要な合理的配慮が適切に提供されるよう、保護者の障がいに対する理解の促進と学校における「個別の指導計画」の作成・活用を推進する。 【特】個別の指導計画サポーターを教育事務所に配置し、小中学校における「個別の指導計画」の作成を支援する。	特別支援教育課
⑨ 特別支援学校キャリアステップアップ事業	21,749 (0)	特別支援学校高等部の卒業生を一般就労につなげるため、県立学校での勤務を一定期間経験させることにより、一般就労に必要なスキルと労働習慣の習得を支援する。	特別支援教育課
⑩ 特別支援教育支援員活用事業	11,759 (0)	高等学校における特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し、障がいのある生徒に対する日常生活の介助や学習のサポートを実施する。	高校教育課
⑪ ICT活用教育推進事業	6,102 (0)	言語活動の充実や視覚的な表現につながるICTの活用により、子どもたちの「学びに向かう力」の育成と思考力・判断力・表現力を育成する。 ・ICTを活用した小・中学生プレゼンテーションコンテスト ・遠隔授業等の導入研究	教育財務課

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：教育委員会）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
12 グローバル人材育成推進事業	17,191 (20,422)	グローバル人材の育成を推進するため、高校生に対する海外留学支援やWeb会議システム等を活用した海外高校との交流の促進、人文科学等の課題を世界的な視野で考える力を養う「グローバルリーダー育成塾」などを実施する。 【新】小・中学生を対象とした英会話中心のイングリッシュ・デイ・キャンプを実施する。	高校教育課
13 特 小学校英語教育推進事業	1,281 (0)	学習指導要領の改訂に伴う平成32年度からの小学校英語教科化に対応するため、小学校教員の英語指導力向上に向けた研修を実施する。	義務教育課
14 いじめ・不登校等解決支援事業	135,518 (117,149)	児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を小・中・高等学校に配置する。 【特】全ての小中学校で活用できるよう、スクールカウンセラーの配置を拡充する。 【新】法的側面からの相談体制の充実といじめ予防教育を推進するため、スクールロイヤー（弁護士）を配置する。	学校安全・安心支援課
15 スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	52,216 (37,562)	貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決に向けて、早期に社会福祉事務所等の関係機関につなぐ体制の充実・強化を図るため、社会福祉士などの資格を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。 【特】全ての中学校で活用できるよう、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充する。	学校安全・安心支援課
16 子どもの命を守る学校防災強化事業	4,360 (3,030)	学校組織全体の防災・減災活動を強化するため、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨等を教訓とした実践的な防災教育を実施する。 【新】防災士の資格を有する防災教育コーディネーターを県立学校に配置し、学校防災体制の強化を図る。	学校安全・安心支援課
17 特 県立学校施設整備事業	2,982,282 (2,952,784)	老朽化した校舎等の新增改築・大規模改修など、県立学校の施設や設備の整備を行い、教育環境の改善を図る。 ・大規模改造（国東高校ほか14校） ・その他（三重総合高校久住校の研修拠点施設など）	教育財務課
18 新 共同実習船建造事業	1,490,160 (0)	海洋科学高校の大型実習船「新大分丸」の老朽化に伴い、香川県と共同で運行する実習船を建造する。 ・平成31年度共同運行開始予定	教育財務課
19 地域の高校活性化支援事業	35,000 (20,000)	地域の高校が地元信頼され選ばれる学校となるよう、外部講師の活用などの学力向上に資する取組に加え、地域住民等との連携による魅力・特色ある学校づくりにつながる取組を実施する。 【特】「地域の高校拠点化プロジェクト」を実施し、地域課題の解決など地域に貢献する高校づくりを推進する。	高校教育課
20 公立高等学校等奨学金給付事業	370,567 (337,930)	修学に意欲のある高校生等が、保護者の経済的理由によりその機会を失うことのないよう、奨学金を給付する。	教育財務課
21 特 教員業務サポート・スタッフ活用事業	43,859 (0)	教員の事務作業を支援するスクールサポートスタッフを配置し、教員の事務負担の軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するとともに、教員の負担軽減に向けた支援体制や方法について検討する。	教育人事課

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：教育委員会）

（単位：千円）

	事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
22	特 部活動地域人材活用事業	32,818 (0)	部活動の質的向上を図るとともに、教員の負担軽減を図るため、地域人材の部活動への活用を図る。また、外部指導者の資質・指導力向上に向けた研修を実施し、安全・安心な部活動を推進する。 ・公立中学校への部活動指導員の配置に対する支援 ・民間団体を活用した県立学校部活動支援体制構築に係る実践研究	体育保健課
23	特 中学生読書活動活性化事業	4,118 (0)	子どもの豊かな心の育成と学力向上に向け、読書離れが課題となっている中学生に対し、作家との交流や製本を体験する機会を提供し、本に対する興味・関心を高めることにより、読書活動の活性化と読書習慣の定着を図る。	社会教育課
24	特 「みんなの読書」拡大推進事業	5,303 (0)	読書や図書館利用に困難を抱える人の読書機会の充実と読書人口の拡大を図るため、県立図書館に電子書籍を試験的に導入し、調査研究を行う。	社会教育課
25	特 子どもわくわく文化体験事業	4,828 (0)	国民文化祭やラグビーワールドカップ2019の開催など、県民の文化に対する興味・関心が高まる機会を活かし、子どもたちが文化に触れ、創造する機会を創出する。	文化課
26	新 “おおいた”の歴史・文化魅力発信事業	12,413 (0)	国民文化祭やラグビーワールドカップ2019の開催など、今後大分県に注目が集まる機会を活用して、先哲史料館及び埋蔵文化財センターを中心に大分県の豊かな歴史や文化についての魅力を県内外に発信することで、県内の歴史・文化に親しむ場や、理解を深める機会の充実を図る。	文化課
27	おおいたシンボルスポーツ創出事業	21,386 (13,906)	全国大会等での活躍が見込まれる競技を「シンボルスポーツ」と位置づけ、トップチームの招聘やアドバイザーコーチの配置など効果的な育成・強化を行う。 【特】ラグビーワールドカップ2019の開催を契機とした、児童生徒へのラグビーの普及促進に向けた取組を実施する。	体育保健課
28	県立スポーツ施設建設事業	4,000,263 (1,469,922)	武道競技を中心として多目的に活用できる屋内スポーツ施設を、ラグビーワールドカップ2019のホスピタリティ施設等としても活用できるよう、平成31年4月完成に向けて建設を行う。また、競技用具・備品の購入等を併せて行う。 〔債務負担行為 600,140千円〕	屋内スポーツ施設建設推進室

※ (新) は「新規事業」、(特) は「創生前進枠事業」

平成30年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：教育委員会）

（単位：千円）

所管課	事業名	廃止理由	29年度 当初予算額
1 教育改革・企画課	広報活動費（大分県教育庁ホームページ改修）	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の単年度事業として実施 所期の目的を達成したため廃止 	7,866
2 福利課	職員厚生事業（教職員健康支援システム更新）	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の単年度事業として実施 所期の目的を達成したため廃止 	5,221
3 義務教育課	中学校学力向上対策支援事業（「学びに向かう学校」づくりの推進に係る支援）	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 所期の目的を達成したため廃止 	2,332
4 特別支援教育課	特別支援教育振興事業（第三次推進計画検討委員会）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28～29年度の2か年事業として実施 所期の目的を達成したため廃止 	614
5 特別支援教育課	特別支援学校ICT活用支援事業（研究機関や民間企業との連携、保護者向けタブレット型端末の活用セミナー）	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事業効果等を検証し、教員の情報機器活用能力を高めるための「ICT活用支援委員研修」に組み替えて要求 	2,195
6 特別支援教育課	特別支援学校就労支援事業（特別支援学校技能発表会）	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事業効果等を検証し、就労先企業のさらなる拡大に向けた「特別支援学校ワーキングフェア」の開催に組み替えて要求 	1,088
7 高校教育課	未来を創る学び推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 所期の目標を達成したため廃止 事業効果等を検証し、小・中・高等学校を通じた一体的な指導体制の確立に向けた「深い学び推進事業」に組み替えて要求 	9,375
8 高校教育課	グローバル人材育成推進事業（イングリッシュ・キャンプ）	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事業効果等を検証し、より多くの児童生徒の参加を可能とする「イングリッシュ・デイ・キャンプ」に組み替えて要求 	1,569
9 高校教育課	地域産業を担う農林水産高校生育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事業効果等を検証し、経営マインドを持った力強い担い手育成を図る「地域の未来を担う農林水産人材育成事業」に組み替えて要求 	8,274
10 高校教育課	おおいたを創るキャリア教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価結果を踏まえ、新たに3年間のキャリア教育を記録して将来との関連づけを行う「大分県版キャリアノートの作成」をメニューに追加して要求 	968
11 社会教育課	地域教育力パワーアップ事業（「協育」ネットワーク支援）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28～29年度の2か年事業として実施 所期の目的を達成したため廃止 	1,286
12 社会教育課	旧社会教育総合センター管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の単年度事業として実施 旧社会教育総合センター施設の譲渡に伴い廃止 	879

平成30年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：教育委員会）

（単位：千円）

所管課	事業名	廃止理由	29年度 当初予算額
13 人権・同和教育課	人権教育連携推進事業	・事務事業評価結果を踏まえ、新たに「部落問題学習推進事業」をメニューに追加して要求	370
14 文化課	おおいた文化のひろば創造事業	・平成27～29年度の3か年事業として実施 ・事業効果等を検証し、子どもたちが文化に触れる機会を創出する「子どもわくわく文化体験事業」と、文化財等の鑑賞機会を広く県民に提供する「郷土の歴史遺産アウトリーチ事業」に組み替えて要求	2,301
15 文化課	豊の国埋蔵文化財魅力発信事業	・平成29年度の単年度事業として実施 ・所期の目的を達成したため廃止	5,838
16 体育保健課	東京オリンピック選手強化支援事業	・平成27～29年度の3か年事業として実施 ・事業体系を整理し、「おおいたシンボルスports創出事業」に統合して要求	5,000
17 体育保健課	トップアスリート就職支援事業	・平成27～29年度の3か年事業として実施 ・事業体系を整理し、「チーム大分強化事業」に統合して要求	1,415
18 体育保健課	全国中学校体育大会開催費補助事業	・平成29年度の単年度事業として実施 ・所期の目的を達成したため廃止	7,000
19 体育保健課	地域スポーツ活性化推進事業	・事務事業評価結果を踏まえ、新たに商業施設等において健康・体力検査の実施と運動プログラムの紹介を行う「スポーツ実施意欲向上事業」をメニューに追加して要求	1,067
20 体育保健課	安全・安心な学校部活動支援事業	・事務事業評価結果を踏まえ、新たに生徒輸送の補助要件を見直して要求	7,284